人・まち・自然がいきいき

ウェルネス・アクションつる⑩

目で見る子育てづくり事業の紹介

今回は「まちの健康づくり」として、子育てを支える地域のネットワークづくりをすすめる活動を紹介します。

研修会の様子

都留市においても少子時代、核家族化など社会状況の変化に伴い子どもを育てる親にとっては大変難しい環境であることには変わりないようです。

「子育ては楽しいか」という問いに対して多くの親は「楽しい」と感じており「苦労が多いぶん楽しさもたくさんある」「子どもの発想力、創造力に親が勉強させられる」「親が成長することができる」など前向きな意見もありますが、それと同時に「子育てに必死になっている」「余裕が欲しい」「イライラする」など子育てをストレスと感じる意見も多く聞かれます。このストレスをなるべく少なくするためのお母さんたちの集まりの場として赤ちゃん広場、子育てサロン、子育て支援センターによる母子グループなどの事業が実施されています。その事業の一つとして、地域で子育てについて考える組織「子育てネットワーク会議」では「子育てを支えるつながりを各地区に作りたい」という願いから研修会を開催しました。

＊子育てネットワーク会議とは…平成12年度より実施している主任児童委員、子育て支援センター、看護師、保育士などの子育てに関係する有志により構成されている教室、研修会の開催などを自主的に行っている組織です。

研修会には地域の民生委員、主任児童委員、保育関係者、教育関係者、医療関係者など子育て支援や子育て中の親など大勢の方が参加し、講演には東京都立梅が丘病院児童精神科の田中哲先生を迎え「子どもの育ちにくさ、育てにくさと向き合う」と題しお話を伺いました。「子どもたちのペースに合わせて大人が待つこと」「心の暴走にブレーキをかけるために自分のことばで表現させること」「子ども時代に別れをつげるために子どもが自分自身を好きになるチャンスをあたえること」など子どもとのかかわり方や「子どもは親だけのものでなく未来を委ねる地域のものである。」「今はお節介がなさ過ぎる。子どもが自分は見守られていることを感じられる地域にする」「今は、子どもを育てることができる親を育てる時期」と地域の役割についても話されました。その後、地区ごとに講師より提示された事例について自分の地域ならどんな支援ができるかをテーマにグループの話し合いが行われ活発な意見交換をしました。その中では「地域と保育園、学校などとのネットワークがあると良い」「地域でどのような人が子育て支援をしているのか知らない」など地域の支援者のつながりを求める声が多く聞かれています。

この話し合いを受け、健全な子どもたちを育て、親を支える地域づくりをすすめるため今後は各地区で子育てを支える人たちがつながりをもつ機会を作ろうと企画中です。

＊地域には民生・児童委員、主任児童委員がおり子育てについての心配ごとの相談に応じています。

＊子どもや母親の健康、家族の健康についての相談は保健師がお受けします。気軽にご相談ください。

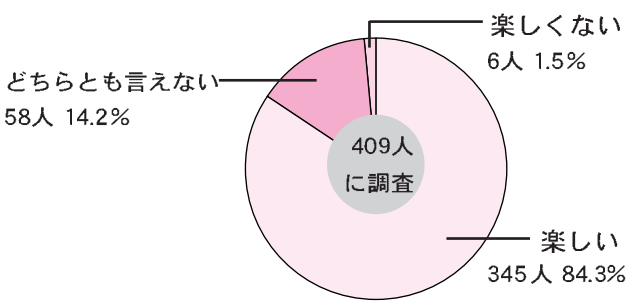
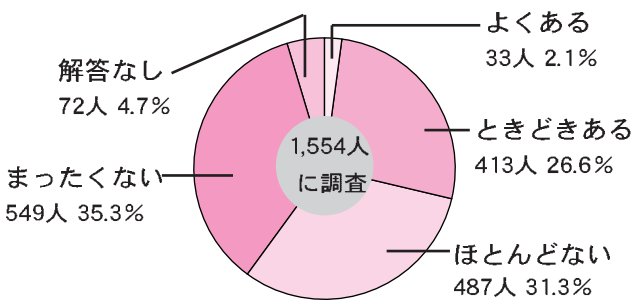
（どちらも秘密は厳守します。）

問合先

福祉事務所　社会福祉担当
☎(46)5112　内線111
健康推進課　保健指導担当
☎(46)5113　内線124

子育てのネットワークづくりや活動に参加しませんか！

①子育ては楽しいですか？



②子どもの顔をみるとイライラする？